

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公開番号】特開2007-180844(P2007-180844A)

【公開日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-026

【出願番号】特願2005-376413(P2005-376413)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/028 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/12 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 8 Q

H 0 4 N 1/028 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月5日(2008.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

互いに対向しかつ原稿の搬送方向へ伸びる 1 対の案内部材を有する搬送路と、
前記搬送路に沿って原稿を搬送する原稿搬送手段と、
可撓性を有し、複数の光センサが配置されているシート状の基材からなる画像読取手段
とを備え、

前記画像読取手段は、原稿の搬送方向に対して傾けられ、前記基材の端部が前記 1 対の
案内部材の一方と接触するように前記 1 対の案内部材の他方に固着され、

前記原稿搬送手段により原稿を搬送して前記基材の前記端部と前記一方の案内部材との
間を通過させながら、前記原稿上の画像情報を前記画像読取手段により読み取ることを特
徴とする画像読取装置。

【請求項 2】

前記画像読取手段の基材には、複数の光センサがマトリクス状に配列されていることを
特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 3】

前記画像読取手段は、前記原稿搬送手段により搬送される前記原稿の一方の面上の画像
情報を読み取る第 1 の画像読取手段および前記原稿搬送手段により搬送される前記原稿の
他方の面上の画像情報を読み取る第 2 の画像読取手段を含み、

前記第 1 の画像読取手段は、原稿の搬送方向に対して傾けられ、該第 1 の画像読取手段
の基材の端部が前記 1 対の案内部材の一方と接触するように前記 1 対の案内部材の他方に
固着され、

前記第 2 の画像読取手段は、原稿の搬送方向に対して傾けられ、該第 2 の画像読取手段
の基材の端部が前記 1 対の案内部材の他方と接触するように前記 1 対の案内部材の一方に
固着されることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像読取装置。

【請求項 4】

シェーディングデータを得るための基準部材を備え、

前記基準部材は、前記一方の案内部材における前記基材の前記端部が接触される部位の近傍に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記基材は光透過性を有し、前記基材の裏面側に前記原稿を少なくとも照明するための光源が配置され、前記基材を介して、前記原稿を照明することを特徴とする請求項 1 記載の画像読取装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 つに記載の画像読取装置を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、原稿 D の両面の読み取りを可能にするために、搬送ローラ 48 の下流側に反転フラッパ 152 が設けられている。また、原稿 D の読取面を反転するための反転搬送路 153 が設けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、原稿流し読みモードにおいて、両面読取モードが選択されている場合、上記原稿 D の一方の面の読み取り終了後、当該原稿 D は、排出口ローラ 49 により、その後端が反転フラッパ 152 を抜けるまで、装置外へ引き出される。次いで、反転フラッパ 152 が切り換えられるとともに、排出口ローラ 49 が逆転駆動される。これにより、原稿 D は反転搬送路 153 へ導かれて、その読取面が反転された状態になる。そして、原稿 D は、再度、搬送ローラ 46 により、上記流し読み位置 101 へ向けて搬送され、原稿 D の他方の面がスキャナユニット 121 により読み取られる。このようにして、原稿 D の両面の読み取りが行われる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明は、上記目的を達成するため、互いに対向しかつ原稿の搬送方向へ伸びる 1 対の案内部材を有する搬送路と、前記搬送路に沿って原稿を搬送する原稿搬送手段と、可撓性を有し、複数の光センサが配置されているシート状の基材からなる画像読取手段とを備え、前記画像読取手段は、原稿の搬送方向に対して傾けられ、前記基材の端部が前記 1 対の案内部材の一方と接触するように前記 1 対の案内部材の他方に固着され、前記原稿搬送手段により原稿を搬送して前記基材の前記端部と前記一方の案内部材との間を通過させながら、前記原稿上の画像情報を前記画像読取手段により読み取ることを特徴とする画像読取装置を提供する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 9 】

これに対し、固定原稿読取モードの場合、A D F 4 0 が開放され、プラテンガラス 2 2 上の所定位置に原稿が載置される。そして、この載置された原稿に対して、スキャナユニット 2 1 が副走査方向へ移動される。すなわち、プラテンガラス 2 2 上の原稿に対してスキャナユニット 2 1 が原稿の主走査方向の読み取りを行いながら、副走査方向へ移動されることによって、原稿の全体が読み取られることになる。